

● Photo sketch ●



2/28 行くぞ！ 夢の甲子園

第89回選抜高等学校野球大会(甲子園)に初出場する多治見高校の、市内在住選手らの出場報告会が文化プラザで行われました。
同校は限られた練習施設や時間の中、創意工夫を凝らした練習により秋季県大会優勝を果たしたことが評価され、県内初の21世紀枠推薦校に選ばれました。
出場する選手からは、「甲子園でも期待に応えられるようチーム一丸となって全力プレーで頑張りたい」、「これまで対戦してきた高校の気持ちを背負って戦いたい」など力強い意気込みを聞くことができました。



3/2 災害時に備えて

いのちをつなぐ非常食「救給カレー」。これは東日本大震災の際、給食の提供が不可能となるなどして食糧不足に陥った経験を教訓に、調理しなくても食べられる非常食として開発されたものです。実際に非常食を食べる経験を通じ、災害に備えることへの理解を深める目的で、市内の全小・中学校の給食で同カレーが提供されました。
児童らは「おいしいわけではないけど、災害時はぜいたくなことは言っていられないのでありがたい」と非日常を味わいながら話してくれました。



3/5 春の乾燥 火の用心

春季火災予防運動期間にあわせ、市消防団北部方面隊(土岐津・肥田・泉分団)の合同訓練が、土岐川河川公園で行われました。この日の訓練は団員60人、車両11台が出動しました。
火災は広範囲であり、水利から現場までの距離が長いという想定で行われ、数本のホースや中継ポンプなどを使い、各分団が連携しながら鎮火させました。北部方面隊長は団員に「火災はいつなんどき起こるか分からない、今日の訓練を生きし日頃から備えておいてほしい」と激励しました。



3/12 クラシックをもっと身近に

今年で17回目となるスプリング夢コンサートが文化プラザ・サンホールで開催され、市内外から約350人の観客が訪れました。
このコンサートは、クラシックになじみのない方でも気軽に音楽を楽しむことができるよう、選曲や演奏順などを出演者自らが企画した手作りのコンサートです。春の訪れを感じさせる、温かく華やかだ空気に包まれた会場からは、惜しみのない拍手が送られていました。



3/10~ 暮らしの研究者 まだまだ募集中

「土岐くらしのラボ」とは、豊かな暮らしにつながる5つの問いについて、ワークショップやそこで生まれた活動を通じて答えを探していくプロジェクトです。市民の皆さんが積極的にまちづくりや市政に参画し、行政と協働してまちづくりに取り組める機会を増やすことを目的としています。



プロジェクトは3月にスタートしたばかり。一緒にまちづくりに取り組める研究者をまだまだ募集しています。
問 まちづくり推進課 (内線186)



3/5 お話の世界、楽しいな

市図書館で、読み聞かせボランティアのメンバーが、読み聞かせのおもしろさや地域に伝わる昔話を楽しんでもらおうと、日頃の練習の成果を発表しました。
メンバーは、大型絵本や紙芝居などを感情豊かに読み上げ、参加した子どもらは興味津々の様子。ほかに、親子で楽しめる手遊びやお手玉、わらべ歌などを披露しました。駄知町に伝わる昔話「あぶらげないばあさま」では、紙人形や音響効果を使って臨場感たっぷりに表現し、参加者らは昔話の世界へ引き込まれている様子でした。

